

表1 医療従事者（注1）の曝露のリスク評価と対応

| 患者と接触したときの状況 | 曝露のリスク | 健康観察の方法（注5） （最後に曝露した日から 14日目まで） | 無症状の医療従事者に対する 就業制限 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|---------------------------------------|-----------------------|
| 顔面（眼、鼻、口のいずれか）を個人防護具で覆わずに、大量のエアロゾルを生じる処置（注2）を実施したか、実施中に室内にいた。 | 高リスク | 積極的 | 最後に曝露した日から14日間の就業制限 |
| ガウンおよび手袋を装着せずに、多量のエアロゾルを生じる処置（注2）を実施したか、実施中に室内にいた。 ※顔面（目、鼻、口のいずれか）を個人防護具で覆っていなかった場合は、上の高リスクカテゴリーに入る。 | 中リスク | 積極的 | 最後に曝露した日から14日間の就業制限 |
| 顔面（眼、鼻、口のいずれか）を個人防護具で覆わずに、マスクを <u>着けていない</u> 患者と長時間（注3）、濃厚接触（注4）した。 | 中リスク | 積極的 | 最後に曝露した日から14日間の就業制限 |
| 顔面（眼、鼻、口の全て）を個人防護具で覆わずに、マスクを <u>着けていた</u> 患者と長時間（注3）、濃厚接触（注4）した。 | 中リスク | 積極的 | 最後に曝露した日から14日間の就業制限 |
| 手袋を着けずに、分泌物や排泄物と直接接触し、直後に手指衛生を行わなかった。 ※接触直後に手指衛生を実施した場合は低リスクと判断する。 | 中リスク | 積極的 | 最後に曝露した日から14日間の就業制限 |
| マスクまたはN95マスクをつけて、マスクを <u>着けている</u> 患者と長時間（注3）、濃厚接触（注4）した。 | 低リスク | 自己 | 不要 |
| 患者またはその分泌物/排泄物との接触時に推奨されるすべての個人防護具（表1参照）を装着していた。 | 低リスク | 自己 | 不要 |
| 推奨されるすべての個人防護具を装着せずに、患者（マスク着用の有無は問わない）と短時間（注3）接触した。（例：受付で短い会話を交わす、病室内に入ったが患者やその分泌物/排泄物との接触はない、患者が退室直後の病室に入る）。 | 低リスク | 自己 | 不要 |
| 患者のそばを歩いた、または、患者やその分泌物/排泄物と直接接触せず、病室にも入らなかった。 | リスクなし | 不要 | 不要 |

Interim U.S. Guidance for Risk Assessment and Public Health Management of Healthcare Personnel with Potential Exposure in a Healthcare Setting to Patients with 2019 Novel Coronavirus (2019-nCoV) をもとに作成